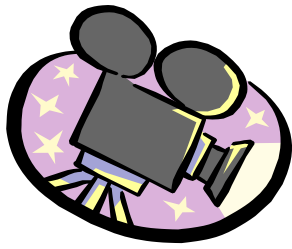


社会福祉法人 はるかぜ福祉会  
はるかぜ通信

編集・発行 障害福祉サービス事業所 はるかぜ  
発行日 平成28年10月15日  
〒816-0849 福岡県春日市星見ヶ丘一丁目8番地  
TEL : 092-595-3179 FAX:092-595-3174  
E-mail : info@swc-harukaze.or.jp



NO. 72  
ナイスショット!!



第36回ときめきスポーツ大会に出場!



9月10日(土)久留米総合スポーツセンターで開催された「第36回ときめきスポーツ大会」のフライングディスク競技に、はるかぜ生活介護の利用者の皆さん7名が参加しました。

今年で3回目の出場で、利用者の皆さん全員アキュラシー(的の輪を通過した回数を競う種目)に出場しました。日頃の練習の成果が本番で発揮され、中には、狙っていたメダルを獲った方もあり、あらためておひとりお一人の頑張りを見ることができました。参加団体104組、1700人の選手が参加でした。

年々参加者が増えているとのこと。これからますます障害者スポーツは盛んになっていくことと思います。

利用者の皆さんはスポーツの楽しさを味わいながら、それぞれに良い思い出をつくられました。

# 活動報告 その1

## 「武雄市図書館に行ってきました～」

生活介護の利用者の皆さんの8月のお楽しみレクリエーションは、佐賀県武雄市の武雄市図書館に行ってきました。武雄市図書館は、TSUTAYAが指定管理を受けて運営をおこなっている話題の図書館です。中に入るとすぐにスターバックスコーヒーの香りが漂ってきます。喫茶店と本屋さん和図書館とが融合した新しいスタイルの図書館です。利用者の皆さんは、マナーを守って静かに移動できました。今回は、カフェラウンジは体験できませんでしたが、蔵書数約20万冊の中から、乗り物の本・スポーツの本・宇宙の本等々、ご自分が見たい・読みたい本を職員と一緒に探して選ばれ、しばらく楽しめました。



## 「クリーン・エネ・パーク南部」って?!

クリーン・エネ・パーク南部は、今年4月、はるかぜの向かいに新館が建てられた「可燃ごみ焼却施設」です。燃えるごみの焼却場として知られていますが、福岡都市圏南部環境事業組合（構成：福岡市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川町）が事業委託している「株式会社創造の森」が運営しています。創造の森の経営方針の一つに、「構成自治体と地域社会への貢献」というのが掲げられています。

そこで、今年8月28日（日）に住民開放デーとして初めてのイベントを催されました。ご近所ということもあって、はるかぜにも出店のお誘いをくださいましたので、喜んで参加させていただきました。①エコバザー ②紙えんぴつ作り ③スロージョギングのすすめのイベントの他に、工場内の見学もできました。初めてのイベントなのに、あいにくの大雨・・・。

それでもご家族連れやお孫さんを連れてのご夫婦などが来られ館内は賑やかでした。

お客様にはるかぜという施設があることを知っていただき、販売したお菓子や小物を「美味しい!!」「可愛い!!」とほめていただき、嬉しい一日でした。

これから、このクリーン・エネ・パーク南部の地域貢献活動が、地域の皆さんに周知され、根付いていくことを楽しみに思いました。



# 活動報告 その2

## 「<sup>じりつくねん</sup>自立訓練レクリエーション <sup>めんたいこへん</sup>やまやの明太子編」

### ～はるかぜメンタイム～

そら よ てんき りようしゃ めい しょくいん めい くるま の  
空は良いお天気。利用者さん4名と職員2名は車に乗って、まずは「<sup>はん</sup>ご飯♪<sup>はん</sup>ご飯♪」ということで、  
『ココス』に向かって出発です。

ココスでは、みなさん好きなランチメニューを食べて、ご満悦(\*^\_^\*)

お腹いっぱいご飯を食べた後は、  
今回のレクリエーションの

メインとなる『<sup>めんたいこじょう</sup>やまや明太工場』  
へ出発進行！



『やまや』に到着すると、

玄関で店員さんが笑顔でお出迎えをしてくれました。

早速、映像とスケトウダラの模型を使って明太子が出来るまでの過程をお勉強しました。

その後、紙芝居を使って、更に分かりやすく

説明をしてくださり、利用者の方たちは、紙芝居の

目の前に座って興味津々な様子でお話を聞かれました。



お話が終わった後は、工場見学です。

明太子が出来て、商品としてお店に並ぶまでの工程を1つ1つ教えてもらいました。

利用者の方の中には、集中して工場の様子を見られている方もあり、普段の表情とはまた違った一面を見る事が出来ました。



また、工場では自由に記念撮影もでき、着ぐるみを着たり、ハッピーを着たいり、顔はめパネルで写真を撮ったりと楽しく過ごしました。

明太子2種類と明太高菜、明太イワシ、疲れた体にしみわたる優しい味の御出汁、明太子のお菓子までの商品の試食をいただきました。

そして、最後はお買い物♪ 一般的にお店で売られている明太子の他に、チューブに入ったチーズ味や梅昆布味の明太子などなど.....

また、明太味のおかき等、様々な商品が販売されていました。その中から好きな商品を選ばれ、ご自身で支払いもしました。



帰りには、『やまや』の方から

御出汁パックをお土産にいただき、

「ありがとうございました」と皆さん

元気にお礼を伝えてお店を後にしました♪

自立訓練の皆さんとまた1つ楽しい思い出ができました。

# はるかぜ福祉会理事会より

第1回地域福祉避難所はるかぜイベントを10月1日にグループホーム「ドリームひこうせん」で開催しました。

春日市社会福祉協議会・松ヶ丘地区自治会・はるかぜ福祉会三者で「福祉避難所はるかぜ運営協議会」を結成して、初めてのイベントです。

はるかぜ福祉会は、地域の防災活動に施設を活用してもらい、地域のお役にたつ施設でありたいと願っています。

春日市と福祉避難所の協定を結んだことから、福祉避難所の役割を知ってもらうイベントとして開催しました。松ヶ丘地区自治会のご協力で、回覧板で「高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児・病弱者」の皆さんに参加を呼びかけました。

小さなお子様を連れた妊産婦の方、ご主人が不自由な体になったので施設を見学にこられた家族の方、車椅子利用の方など20人ほどが参加されました。

おもてなしで用意したのは、隠し味を加えた特製カレーとゼリー。そしてはるかぜのお菓子。「美味しい!」と言っていたいた特製カレーを作ったのは、ドリームひこうせん（グループホーム）の保護者の皆さん。朝から汗だくで準備してもらいました。

グループホームの入居者は、ホストとして施設の案内役を務めました。後援をいただいている太宰府ロータリークラブの皆さんも応援に駆けつけてくださり、とても賑やかなイベントになりました。

今回のイベントでは「大規模災害」が発生した状況での福祉避難所の開設手順をご案内しました。

次回のイベントでも、おいしい食事を用意して、為になる防災について知る機会を設けたいと思っております。

ぜひご参加ください。



ありがとうございました!!

※ご寄付 మరి도工芸 様 株式会社エクス 様